

みんなが住みやすい未来の射水市

小杉小学校 4年 堀 絢斗

ぼくが住む射水市は、豊かな緑やきれいな海などの自然にかこまれ、白エビやズワイガニ、タケノコなどのおいしい食べ物がたくさん取れます。

また、ぼくは歌の森運動公園でサッカーを習っているのですが、いつも遊具コーナーではたくさん子ども達が元気いっぱい遊び、野球やテニス、ランニングなどのスポーツをする人でにぎわっています。他にも大島中央公園や太閤山ランドなど、人々が集まるすてきな公園がたくさんあります。そんなみ力的な射水市が、ぼくは大すきです。

地域の新せんなおいしい物を食べて、体を動かすことが好きな人が多いからか、長生きをしている人が多い気がします。ぼくのひいおじいちゃんとひいおばあちゃんも、長生きをしています。去年、ひいおじいちゃんは車のめんきょしょうを返しました。射水市のいなかの方に住んでいるので、バスや電車なども近くにありません。ひいおばあちゃんもめんきょしょうを持っていないので、どこかへ出かける時は、だれかに送ってもらう必要があります、ぼくのおばあちゃんやお母さんが送ったりしています。さい近は、「のるーと」という新しいサービスもできましたが、使い方が分からないそうで、利用していません。家にいる事がふえたため、足が動きにくくなって、前ほど元気がないのが心配です。

ぼくは、これからの射水市が、いなかの方に住むお年よりや車の運転ができない人も出かけやすいように、公共交通機関が発てんしたり、「のるーと」などの乗り合いサービスがもっと使いやすくなったらいいなと思います。そしたらもっと射水市が活発になって、今より健康に長生きをする人もふえると思います。